

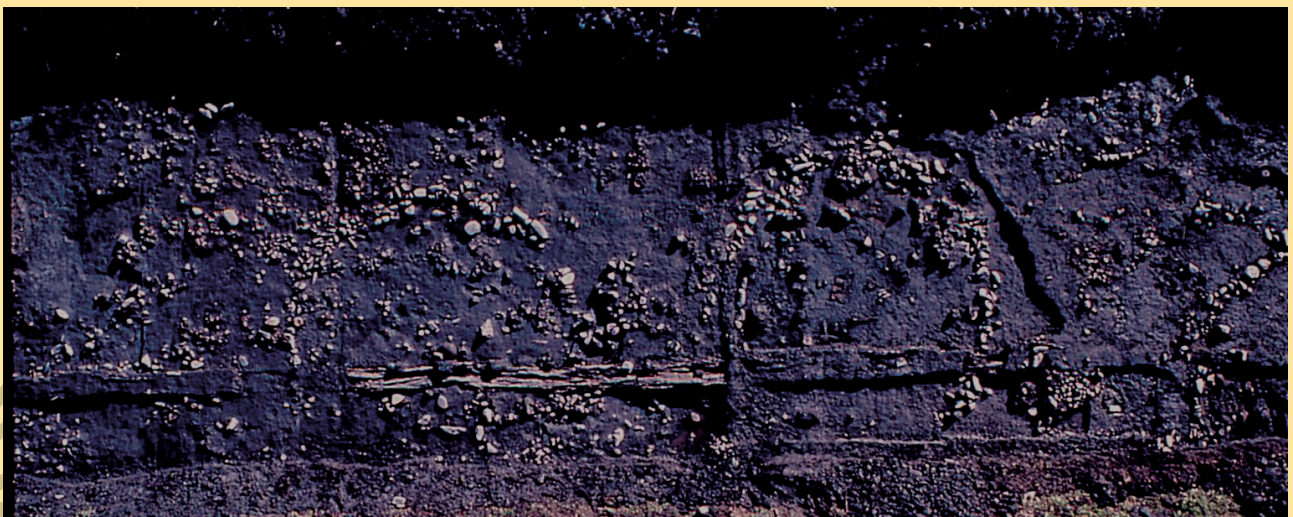
あひょう く いせき はなまきしやくしよ にし やく ばしよ とう
安俵 6 区遺跡は、花巻市役所から西に約 9km の場所にあります。東
わ ちいきあひょうち く しゅうい きゅうりょうさんち かこ ぼんちじょう ちけい さるかいし
和地域安俵地区は周囲を丘陵山地に囲まれた盆地状の地形で、猿ヶ石
がわ とうざい なが いせき みち えき しゅうへん かいはつこうじ
川が東西へ流れています。この遺跡では道の駅とうわ周辺の開発工事
どうろかくちょう はつくつちょうさ おこな
や道路拡張などで平成 7・9～11 年に発掘調査が行われました。

ちょうさ やく じょうもんじだいこうき かんじょうはいせき
調査では、約 4,000 年前から 3,500 年前 (縄文時代後期) の環状配石
い こう いし えんけい なら じゅうきょじょう き どきす ば え ど じ
遺構 (石を円形に並べた住居状のもの) が 8 基、土器捨て場、江戸時
だいいこう すいろ あと じょう いぶつ どきす ば おも
代以降の水路跡が 10 条見つかりました。遺物は土器捨て場で主に見つ
じょうもんどき せっき どせいひん どぐう どうぶつ さかな ほね しゅうのうよう
かり、縄文土器や石器、土製品や土偶、動物や魚の骨など収納用のコ
はこ しゅつど
ンテナで 390 箱も出土しました。

せきぞく せんたん ちゅうしん む
また、石鏃の先端を中心に向
えんけい ほうしゃじょう なら
け、円形 (放射状) に 7 つ並べ
う めずら いこう
て埋められた珍しい遺構も見つ
かりました。



石鏃が放射状に並んで出土した様子 (平成 11 年度調査)



1 号～5 号環状配石遺構 (平成 10 年度調査)